

## 福生市内に落下したパラシュートについて（要請）

令和7年12月8日、防衛省北関東防衛局から「11月20日の米軍降下訓練で切り離された主降下傘等が、熊川児童館敷地内で発見、回収された」との情報提供があった。

これは、11月18日に発生した降下訓練における場外降着事案後、11月20日、「安全性について確信が得られたことから、今日にでも訓練を再開する予定」との情報提供を受けた直後に発生したものである。また、11月20日に横田基地外への落下事故が発生していたにもかかわらず、12月8日まで情報提供がなかったことは、事案を秘匿しようとしていたかのような疑念を抱き、基地周辺住民との信頼関係を著しく損なうものである。

11月21日には、11月18日の場外降着事案について、瑞穂町と瑞穂町議会により要請が行われたばかりであるにもかかわらず、再びこのような事態が発生したことは、国策のためにと耐えてきた町民の心情を踏みにじる行為であり、強く非難する。

貴職においては、この状況を重く受け止め、原因究明を徹底するとともに、基地周辺住民の安全確保のために必要な措置および再発防止策を速やかに講じ、その情報を明らかにするよう、強く要請する。

令和7年12月10日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官  
リチャード F. マックエルハニ一大佐 殿

瑞穂町長 山崎 栄

瑞穂町議会  
議長 小川 龍美

瑞穂町議会基地対策特別委員会  
委員長 原 隆夫